



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 安井 龍之助
 (氏名) 苅田 透

TEL 092-472-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,732	9.0	883	△2.5	968	2.6	456	25.5
23年3月期第3四半期	19,940	15.1	906	181.6	943	155.9	363	145.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 362百万円 (△2.5%) 23年3月期第3四半期 371百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	53.77	—
23年3月期第3四半期	42.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,132	8,101	40.5
23年3月期	19,950	7,916	38.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,747百万円 23年3月期 7,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	12.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,200	7.5	1,100	△10.8	1,190	△9.4	590	△14.3	69.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,640,000 株	23年3月期	8,640,000 株
24年3月期3Q	148,505 株	23年3月期	148,505 株
24年3月期3Q	8,491,495 株	23年3月期3Q	8,491,736 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、世界経済は中国やインドをはじめとするアジア諸国の成長に牽引され、前年に比べ緩やかな回復基調で推移しました。日本経済は東日本大震災からの復旧とともに緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、歴史的な円高の長期化、欧州財政危機の深刻化、タイの洪水被害によるサプライチェーン寸断の影響が減速要因となり、先行き不透明感が強まっています。

この状況の下、当社グループは顧客に対して、原価低減、省エネルギー、品質向上等の価値提案を主とした顧客密着営業を展開し、顧客の新規設備投資が抑制されるなかでも、生産比例品及び消耗品等の販売に注力することで、営業目標の達成に努力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高217億32百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益8億83百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益9億68百万円（前年同期比2.6%増）、四半期純利益4億56百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、円高の継続による輸出不振と輸入鋼材の増加、タイの洪水被害などにより鋼材在庫がだぶついていることから、高炉各社は減産による在庫調整を図っており、粗鋼生産量は前年同期を下回る推移となりました。

当社グループにおきましては、新しく開発した製鋼用副資材、原料工場向けの雑鉄処理用搬送コンベアの販売が特に伸張しました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は76億70百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

(自動車業界)

同業界では、東日本大震災からの生産回復が進んでいましたが、タイの洪水被害により再び部品供給網が寸断されたため、当四半期後半は減速しました。一方、工作機械の受注は内需・外需とも好調で、特に外需においてはタイの洪水に伴う復興需要が押し上げ要因となりました。

当社グループにおきましては、自動車部品の高圧洗浄装置や高圧ポンプの販売が伸びたほか、工作機械向けロータリージョイントの販売も堅調で、売上増に寄与しました。

この結果、自動車業界全体としての売上高は39億4百万円（前年同期比37.9%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、国内の半導体製造装置メーカーの受注は減少傾向にありましたが、当四半期終盤には持ち直す動きが見られました。一方、半導体製造装置の販売は当四半期に入り減速傾向が見られるようになりました。

当社グループにおきましては、太陽電池製造工程で使用される石英ボードや半導体検査装置の販売が伸びたものの、前年同期に好調な販売実績を残した半導体バリ取り装置のマイナスを補うに至りませんでした。

この結果、電子・半導体業界全体としての売上高は24億47百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

省エネ対策用に開発したタイヤ加硫機用の高性能断熱板の販売が伸張し、ゴム・タイヤ業界向けの売上高は21億63百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

(環境業界)

水処理施設で使用される逆浸透膜エレメントの販売が大きく伸び、ごみ処理施設のダスト搬送装置や耐熱ジャバラの販売が寄与したことで、環境業界向けの売上高は9億20百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

(紙パルプ業界)

各種ポンプ類および消耗部品の販売が堅調であったため、紙パルプ業界向けの売上高は5億26百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

(化学業界)

耐蝕性に富んだチタン製真空ポンプや、チタン製造工程で使用される塩化炉の開口機の販売が寄与し、化学業界向けの売上高は8億17百万円(前年同期比27.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末より6.0%減少し、148億13百万円となりました。これは、主に現金及び預金が12億93百万円減少し、一方で受取手形及び売掛金が4億67百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より2.9%増加し、43億19百万円となりました。これは、主に有形固定資産が41百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末より4.1%減少し、191億32百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末より8.7%減少し、100億24百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が1億円、短期借入金が3億33百万円、未払法人税等が4億42百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より4.7%減少し、10億5百万円となりました。これは、主に長期借入金が41百万円減少したことなどによるものです。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末より8.3%減少し、110億30百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末より2.3%増加し、81億1百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億86百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成23年11月7日に公表しました業績予想に変更はありませんが、変更が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126,278	1,832,574
受取手形及び売掛金	10,005,201	10,472,484
商品及び製品	931,308	905,271
仕掛品	111,243	263,756
原材料及び貯蔵品	58,257	72,062
その他	1,529,051	1,274,661
貸倒引当金	△7,261	△7,670
流動資産合計	15,754,081	14,813,141
固定資産		
有形固定資産	1,735,741	1,777,602
無形固定資産	71,039	78,036
投資その他の資産		
投資有価証券	1,864,787	1,892,916
その他	549,131	580,614
貸倒引当金	△24,592	△10,050
投資その他の資産合計	2,389,326	2,463,480
固定資産合計	4,196,107	4,319,119
資産合計	19,950,188	19,132,260
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,961,292	7,860,753
短期借入金	1,617,400	1,284,360
1年内返済予定の長期借入金	67,722	57,165
未払法人税等	592,544	149,572
賞与引当金	—	189,371
役員賞与引当金	—	34,427
受注損失引当金	—	19,387
その他	739,606	429,635
流動負債合計	10,978,566	10,024,672
固定負債		
長期借入金	49,991	8,945
退職給付引当金	529,467	536,400
役員退職慰労引当金	360,991	358,174
その他	114,594	102,258
固定負債合計	1,055,045	1,005,778
負債合計	12,033,611	11,030,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	6,050,343	6,336,869
自己株式	△79,036	△79,036
株主資本合計	7,483,193	7,769,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,309	70,757
為替換算調整勘定	△80,370	△92,620
その他の包括利益累計額合計	87,939	△21,863
少数株主持分	345,444	353,954
純資産合計	7,916,577	8,101,810
負債純資産合計	19,950,188	19,132,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	19,940,306	21,732,092
売上原価	16,102,996	17,628,013
売上総利益	3,837,309	4,104,079
販売費及び一般管理費	2,931,056	3,220,100
営業利益	906,253	883,978
営業外収益		
受取利息	1,940	2,888
受取配当金	16,156	20,054
持分法による投資利益	42,428	44,965
不動産賃貸料	23,917	17,492
その他	20,184	22,262
営業外収益合計	104,626	107,663
営業外費用		
支払利息	5,586	4,680
為替差損	50,200	14,858
投資事業組合運用損	3,910	2,741
その他	7,791	1,207
営業外費用合計	67,489	23,488
経常利益	943,390	968,154
特別利益		
固定資産売却益	—	70
保険解約返戻金	8,660	408
受取保険金	—	46,387
特別利益合計	8,660	46,866
特別損失		
減損損失	163	122
固定資産除却損	3,224	2,621
投資有価証券評価損	9,965	12,181
関係会社出資金評価損	108,935	—
会員権評価損	2,850	190
特別損失合計	125,138	15,115
税金等調整前四半期純利益	826,913	999,906
法人税等	434,454	512,088
少数株主損益調整前四半期純利益	392,458	487,817
少数株主利益	28,774	31,231
四半期純利益	363,683	456,585

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	392,458	487,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,016	△113,874
為替換算調整勘定	73	△12,250
持分法適用会社に対する持分相当額	△149	400
その他の包括利益合計	△21,093	△125,724
四半期包括利益	371,365	362,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,669	346,783
少数株主に係る四半期包括利益	29,695	15,309

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	7,194,571	2,830,672	2,617,318	2,096,914	820,715	516,866	643,836	16,720,895
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,194,571	2,830,672	2,617,318	2,096,914	820,715	516,866	643,836	16,720,895
セグメント利益	624,362	173,280	117,344	103,876	42,814	29,963	44,160	1,135,802

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	3,219,411	19,940,306	—	19,940,306
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	3,219,411	19,940,306	—	19,940,306
セグメント利益	138,915	1,274,717	△368,464	906,253

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △368,464千円には、内部利益 382,080千円、連結消去 137,609千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △888,154千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	7,670,579	3,904,683	2,447,485	2,163,553	920,839	526,633	817,409	18,451,184
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,670,579	3,904,683	2,447,485	2,163,553	920,839	526,633	817,409	18,451,184
セグメント利益	576,808	140,732	100,362	106,213	42,634	31,832	76,709	1,075,292

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	3,280,908	21,732,092	—	21,732,092
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	3,280,908	21,732,092	—	21,732,092
セグメント利益	112,356	1,187,649	△303,670	883,978

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 △303,670千円には、内部利益 466,619千円、連結消去 176,399千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △946,690千円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間までセグメント利益の調整額に含めておりました販売費及び一般管理費のうち、営業部門に係る費用は、前連結会計年度から合理的な基準によって各セグメントに配分する方法に変更いたしました。

なお、変更後の方法により作成した前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、『I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)』に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。